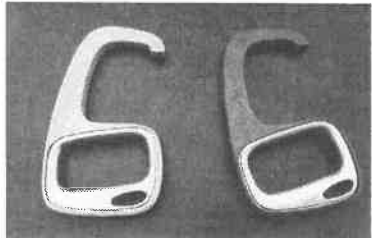
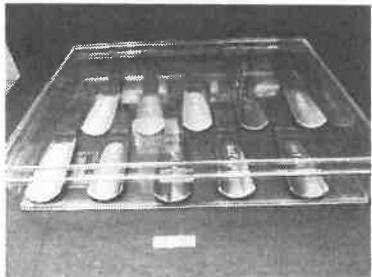


東海理化のマグネダイカスト

車以外の用途開拓、加速

アウトドア、生活用品掘り起こす

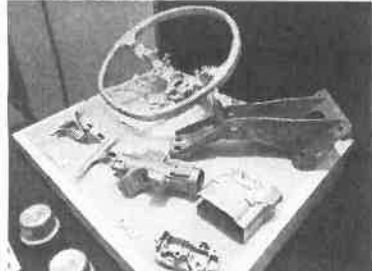


自動車部品向けマグネダイカスト製品製造でグローバル展開する東海理化(愛知県大口町)は非自動車向け用途開拓に本格的に乗り出した。アウトドア用品や暮らしに関わる生活用

デザインから塗装まで一貫体制

品、さらに車椅子部品など医療・福祉関連での需要を掘り起こす考え。試作品と知見を蓄積し、アウトドア用品やペグ、鍋(写真上)などがあり、医療・福祉関連では杖や車椅子部品、シニ

「要望があればデザインから表面処理、塗装を含めた生産まで一貫対応できる体制」を誇る。同社の体制は顧客のニーズをきき取り、デザインを提案、②設計ではCAE技術を用い、薄肉化・軽量化を提案、③評価・解析技術として市場での使用状況を考慮した評価を実施し、高品質を確保、④製造では鍛造から加飾(塗装・3D転写)まで対応する。既に市場投入したも



のとしてマグネダイカストによる靴ベラ(写真上から2番目)は自動車販売店の景品等で使用されているという。さらにコロナ対策として昨年9月に発売したタッチレスツール「Merge Grip(マグリップ)」(写真上から3番目)は接触感染を予防したいというニーズ

から生まれ、直接ドラフツやドリル等に触れることによる操作・保持できる。車スアリングに着想を得て、マグネ合金を芯に使用し、重量55%、耐荷重100kgを実現、表面の接触部には軟質樹脂を使用する。なお、同社のマグネダイカストの歴史は1980年代からで、2000年代頃から北米、中国、タイ、インドと海外展開を強めてきた。ステアリングホイール芯金やロックボタ

WEBで通常総会を開催

日本ダイカスト協会(浦上彰会長)は通常総会を5月20日(木)、WEBにより開催する。

「記事掲載後にダイカスト」の反響を呼んでいる。同社は今回の新法案では「金型改良」により、ランナー加圧を導くサービス「ランナー加圧計算サービス」を同社は実施する。ユーザーは同社宛に「製品名とランナーとオートパーフローがついた状態のAscast品と不具合内容を送れば、同社に備えられた「ランナー加圧計算ツール」を使い、最適な解決策導き出す条件設定を導く。動画は(https://youtu.be/yGfointogik)及びQRコード。

ホンダは独自技術の社外活用を加速するため、技術ライセンスWebサイトを公開した。同サイトにはライセンス可能な技術が掲載され、耐熱性に優れ、熱伝導率が汎用マグネ合金A2

ホンダ マグネ、アルミ等の独自技術を社外へ

91Dに対し約2倍で溶解作業中の難燃性に優れるマグネ合金や、鉄とアルミの異材接合技術などがある。Web問合わせフォームから、ライセンス契約の相談が可能。

自動車部品に用いられる技術は、強度や耐久性など求められる過酷な条件をクリアしており、同社製品以外にも様々な製品へ適用可能と考え、公開に至った。掲載されたマグネ合金は

低廉化金型の開発注力

金型メーカー、魚岸精機(富山県射水市、魚岸成光社長)は国際公約SDGs(持続可能な開発目標)に沿ったダイカストの可能性を広げる一環として、従来に比べ納期及びコストの50%減を目指した小ロット向け低廉化金型の開発に力を入れている。多品種少量ニーズに合わせた金型寿命

のものを安く早く作れる任組を構築し、金型の付加価値向上につなげる狙い。同社はニーズの多様化からダイカストが活かせる分野が広がることを見据え、これまで砂型や試作対応となっていたものをダイカスト化できるよう取り組んでいく。例えばダイカストマシンの型縮力500トクラ

納期、コスト50%減を目指し

この取り組みを始めたのは顧客の問題(困り事)解決の一環からだ。同社は川下ニーズとその背景を次のように捉える。(技術部)

多品種少量ニーズに対応

は技術者不足と検討時間・作業工数の不足、フロントローディングによる準備負担過多、(購買部門)は金型費用低減ができない、金型部品や材料の高騰、国内での品質・工程管理(生産部門)は良品率悪化、稼働率低下、金型低寿命化。

技術と知恵を

「型破り先進企業」をスローガンとしている。今回の事業に先立ち、2014年から始めた事業には「UPDO」がある。型期間内のスケジューリングで早期量産に持っていく仕組みで、ユーザーの負担軽減に着目した取り組みになる。具体的には製品設計(3Dモデル)・素材図・

株エーケーダイカスト工業所 エーケー産業株式会社 連絡先 0493-56-4161(ダイカスト) 0493-56-4884(産業)

大きな反響得て、さらに考案 「部分ランナー加圧」(特許) 必要な部分の品質密度を向上

CAE(流動、凝固、歪み解析)・金型構想など前段階のコンセプト設計から受託し、製造不良率低減や金型原価低減につなげる。なお、昨年に中部経済産業局から地域未来牽引企業に選定された同社は、今年創業75周年を迎える。

NIKKAN 予熱タワー 溶解用ルツボ 出湯樋 保持用ルツボ 溶解バーナー 保持バーナー

アルミ合金溶解の革新 世界初、アルミニウム溶解炉と保持炉を一体化。連続溶解・保持を実現

「省エネ」「高歩留まり」「高品質」を同時にクリア 省エネ 25%~30%燃費減少 高品質 溶解未処理で水素ガス 0.25cc/100g以下 K10値 1.4以下

1日8時間、土・日休みの操業に最適な炉です 日本ルツボ株式会社 NIPPON CRUCIBLE CO., LTD. TEL:03-3446-3411